禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B63

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 左官 学科試験問題
(左官作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ.　A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ.　B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ.　答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　サンドペーパーの研磨材の粒度は、番数が大きくなるほど粒度が粗くなる。

2　黒打ち鏝は、土壁の下塗り・中塗り等に用いる。

3　木造直張りラスモルタル下地におけるラスの重ねは、30mmとする。

4　ラス下地のセメントモルタル塗りにおいて、下塗り(ラス付け)は、ラスの山高よりも厚く塗る。

5　陸墨（ろくずみ）は、柱や梁（はり）等の中心線を示す。

6　せっこうプラスターの強度を高めるには、セメントを混入するとよい。

7　セメントモルタルポンプ吹付け工法の現場圧送順序は、一般に、次のとおりである。
　水送り → セメントペースト送り → 試し送り(軟らかめのセメントモルタルを送る) → 普通セメントモルタル送り

8　なまこ壁は、平瓦などを壁面に張り付け、瓦と瓦の継目にかまぼこ形に漆喰を塗り付けて仕上げたものである。

9　コンクリート下地にセメントモルタル塗りを行う場合、コンクリートの表面は、できるだけ平滑にしておくとよい。

10　セメントモルタルの保水性を高めるには、メチルセルロースを混入するとよい。

11　建築工事の工程表は、工事の施工順序や所要時間等を表したものであり、表示方法には、バーチャート式やネットワーク式などがある。

12　1袋25kg入りのセメント袋を積み上げて保管する場合、その積上げ高さは、20袋程度までとするとよい。

13　れんが積みにおけるれんがは、水湿しをしない方がよい。

14　壁のタイル張り工事を密着張り工法で行う場合、タイルは、壁の上部から張り付けるとよい。

15　パーライトは、吹付け仕上げの材料に適していない。

16　繊維壁は、浴室の仕上げに適している。

［A群（真偽法）］

17　木材の色は、一般に、辺材部よりも心材部の方が濃い。

18　シーリング材は、目地部分の間隙に充填する防水材である。

19　左官工事において、中心飾りとは、洋風建築の丸柱に装飾を行うことをいう。

20　色の三原色は、白、黄及び赤である。

21　RC造は、鉄筋コンクリート造の略称である。

22　カーテンウォールは、非耐力壁である。

23　日本産業規格(JIS)によれば、製図における長さの寸法の単位は、原則として、センチメートルとされている。

24　建築基準法関係法令によれば、階段は、建築物の主要構造部の一つとされている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、移動はしごの幅は、30cm以上とすることとされている。

［B群（多肢択一法）］

1　左官用具とその用途の組合せとして、一般に、適切でないものはどれか。

	左官用具	用途
イ	ちりぼうき	ちり拭き
ロ	タッカー	塗り材の混練
ハ	タンパー	床面のならし
ニ	ポリッシャー	人造石のつや出し

2　左官用器工具に関する記述として、適切でないものはどれか。

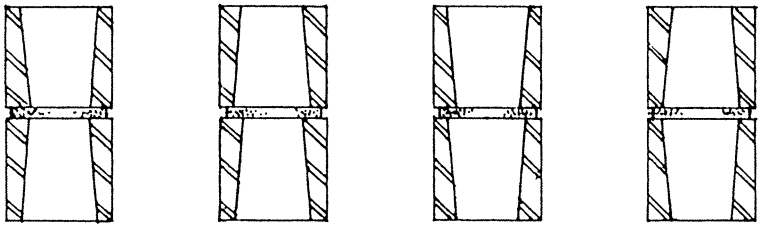
イ　モルタルポンプは、セルフレベリング材の圧送には使用できない。

ロ　ハンドミキサーは、左官材料のような軽いものの混練りに使用する。

ハ　墨つぼ、さしがね等は、墨出しに使用する。

ニ　スプレーガンやモルタルガンは、吹付け材料の吹付けに使用する。

3　次図(断面図)のコンクリートブロックの積み方として、適切なものはどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

4　次図に示す墨出しに使用する墨印のうち、訂正墨を表すものはどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

5　人造石洗い出し工法において、種石モルタルを塗り付け、伏せ込んだ後に行う作業はどれか。

イ　表面をかき落とす。

ロ　表面に石を植え付ける。

ハ　表面を洗い出す。

ニ　表面に樹脂を吹き付ける。

6　せっこうプラスター塗り仕上げに、最も適している部位はどれか。

イ　寝室の壁

ロ　軒裏天井

ハ　外壁

ニ　地下室の壁

［B群（多肢択一法）］

7　リシンかき落し仕上げに関する記述として、適切でないものはどれか。
イ　かき落しは、上塗りが完全に乾燥した後に行う方がよい。
ロ　目地棒を使用した場合、目地棒は、数日後に取り外した方がよい。
ハ　上塗りは、厚さ6mm以上に塗り付けるのがよい。
ニ　目地塗りの材料は、上塗りと同じ調合のものに寒水粉を混入して塗るとよい。

8　漆喰に関する記述として、適切でないものはどれか。
イ　蛇腹引きを行うことがある。
ロ　面戸に使用する。
ハ　磨き仕上げを行うことがある。
ニ　人造石研ぎ出し仕上げに使用する。

9　塗り壁の故障とその原因の組合せとして、適切でないものはどれか。

	故障	原因
イ	噴裂	消石灰の消化不良
ロ	かび	材料の膨張
ハ	色むら	顔料の調合不良
ニ	白華	雨水の浸入

10　木造直張りラスモルタル下地の施工順序として、適切なものはどれか。
イ　ラス下地板張り → 防水紙張り → ラス張り → セメントモルタル塗り
ロ　ラス下地板張り → ラス張り → 防水紙張り → セメントモルタル塗り
ハ　防水紙張り → ラス張り → ラス下地板張り → セメントモルタル塗り
ニ　防水紙張り → ラス下地板張り → ラス張り → セメントモルタル塗り

11　単管足場に使用しない部材はどれか。
イ　自在型クランプ
ロ　固定型ベース金具
ハ　単管ジョイント
ニ　建わく

12　セメントモルタル下地へのタイル張り工事における、タイル張りの施工法とセメントモルタル下地の仕上げの組合せとして、適切でないものはどれか。

	施工法	下地の仕上げ
イ	積上げ張り	金鏝押さえ
ロ	圧着張り	木鏝押さえ
ハ	密着張り	木鏝押さえ
ニ	接着剤張り	金鏝押さえ

［B群（多肢択一法）］

13　次の石材のうち、堆積岩で、炭酸カルシウムを主成分とするものはどれか。

イ　石灰岩
ロ　花崗岩
ハ　砂岩
ニ　安山岩

14　材料に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　消石灰は、水硬性材料である。
ロ　ポルトランドセメントは、水硬性材料である。
ハ　せっこうプラスターは、気硬性材料である。
ニ　ドロマイトプラスターは、気硬性材料である。

15　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

パーライトモルタルは、普通セメントモルタルよりも耐熱性が(①)、比重が(②)。

	①	②
イ	低く	小さい
ロ	低く	大きい
ハ	高く	小さい
ニ	高く	大きい

16　漆喰用糊でないものはどれか。

イ　非水溶性樹脂
ロ　粉角又
ハ　メチルセルロース
ニ　ぎんなん草

17　すさとその原料の組合せとして、適切でないものはどれか。

	すさ	原料
イ	紙すさ	みつまたの繊維
ロ	白毛すさ	マニラ麻の繊維
ハ	さらしすさ	紙
ニ	みじんすさ	わら

18　左官装飾(彫刻)に使用する材料として、適切でないものはどれか。

イ　白色ポルトランドセメントを主体にしたもの
ロ　漆喰を主体にしたもの
ハ　せっこうを主体にしたもの
ニ　セルフレベリング材を主体にしたもの

［B群（多肢択一法）］

19　次の色のうち、寒色はどれか。
　イ　黄
　ロ　赤
　ハ　青
　ニ　橙

20　次の構造のうち、組積造でないものはどれか。
　イ　れんが造
　ロ　コンクリートブロック造
　ハ　鉄筋コンクリート造
　ニ　石造

21　階段に関係しないものはどれか。
　イ　ささら桁（げた）
　ロ　踏面
　ハ　母屋桁
　ニ　けあげ

22　建築基準法関係法令によれば、建築物の主要構造部に含まれないものはどれか。
　イ　柱
　ロ　梁（はり）
　ハ　ひさし
　ニ　屋根

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の平面表示記号が表すものはどれか。
　イ　引違い戸
　ロ　両開きとびら
　ハ　引違い窓
　ニ　出入口一般



24　建築基準法関係法令によれば、耐水材料でないものはどれか。
　イ　れんが
　ロ　せっこうボード
　ハ　アスファルト
　ニ　ガラス

［B群（多肢択一法）］

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、つり足場の作業床は、幅を(　　)cm以上とし、かつ、隙間がないようにすることと規定されている。

イ　20

ロ　30

ハ　40

ニ　50